

ドジョウのヒレとヒゲの血流観察の方法(NREの例会にて発表)

今まで血流観察は、メダカや小魚にガーゼをかぶせたり、小さいパックに入れて顕微鏡観察をしていましたが、濡れたガーゼだけでは観察中にメダカが死んでしまう、パックに入れると体が動くので観察しにくい等の問題点がありました。

そこで、ドジョウのヒレとヒゲで血流を観察する方法を考えました。





300ml ビーカーに入れたドジョウに語りかけます。
「少しの間がまんしてね・・・。」魚は人の気持ちが変わるので、思いが通じると協力してくれます。



500ml ビーカーの上にかける布団（ガーゼ）をのせ、
ドジョウをかける布団の上に移します。



ドジョウに思いが通じていると、おとなしくかけ布団にのってくれます。通じていないと暴れてとび出します。



ビーカーからペトリ皿へ、かけ布団ごとドジョウを移します。「持ち上げるよ、そっと運ぶから大丈夫だよ。」



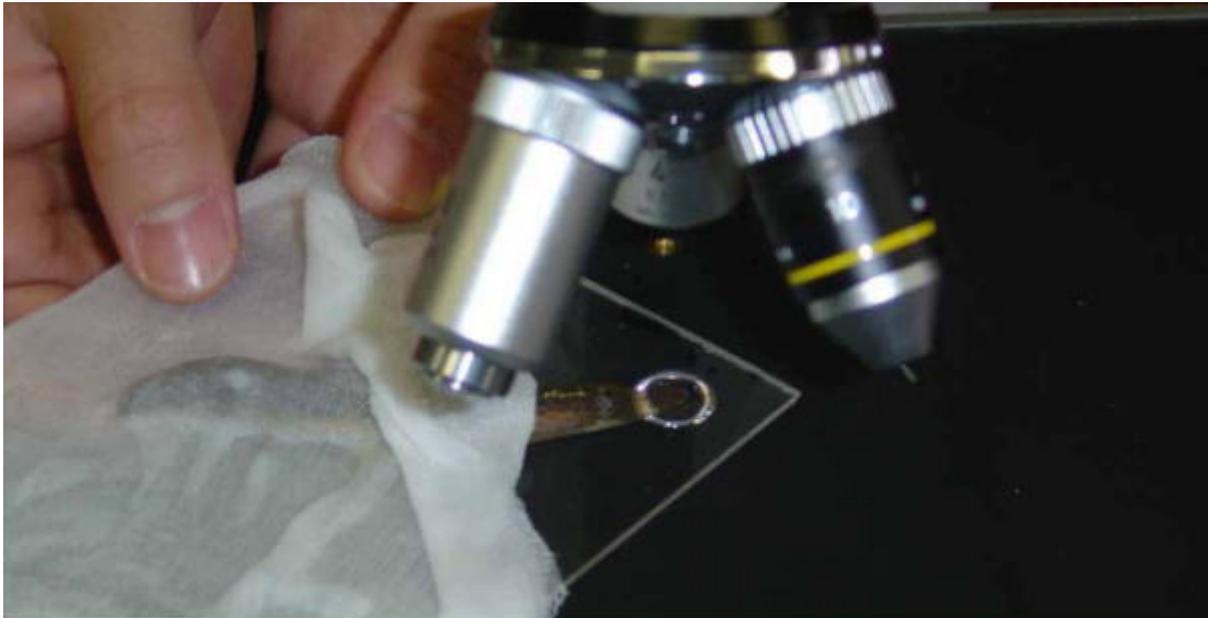
かけ布団の上にベッド（大型スライドガラス〔アクリル板〕）を置きます。



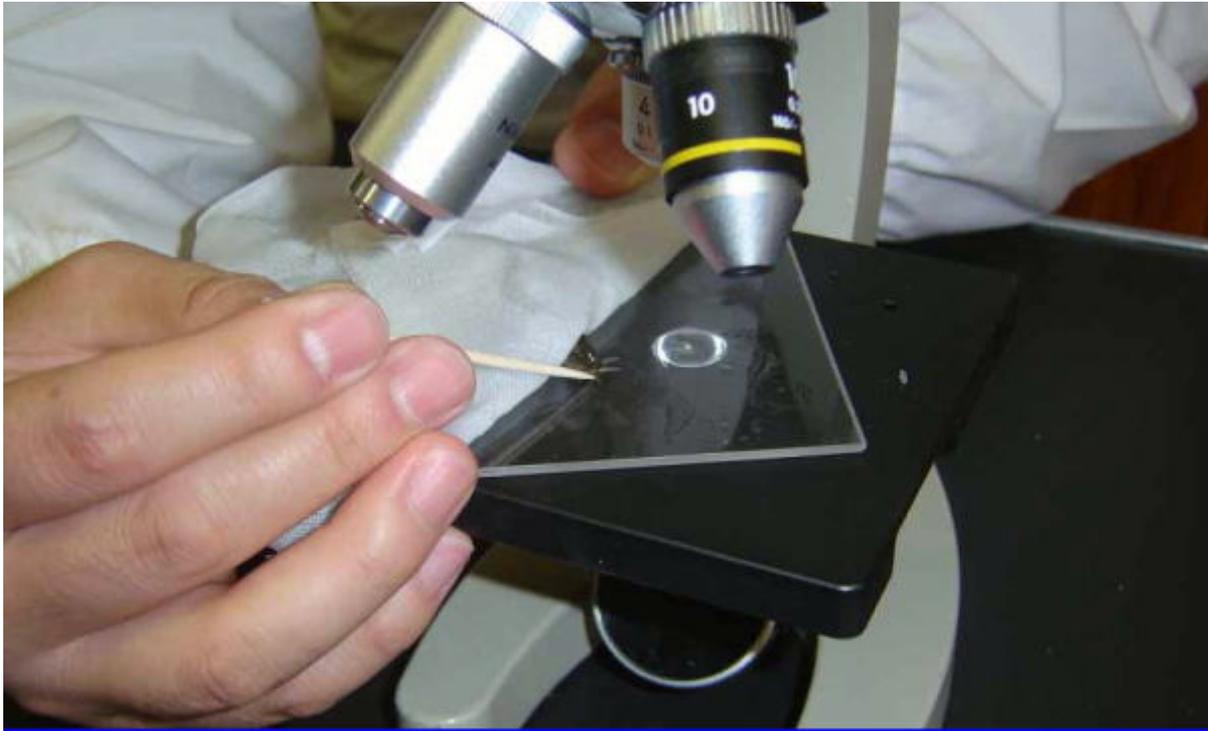
ベッドが下になるようにひっくり返します。
ひっくり返ったら、ペトリ皿をとります。



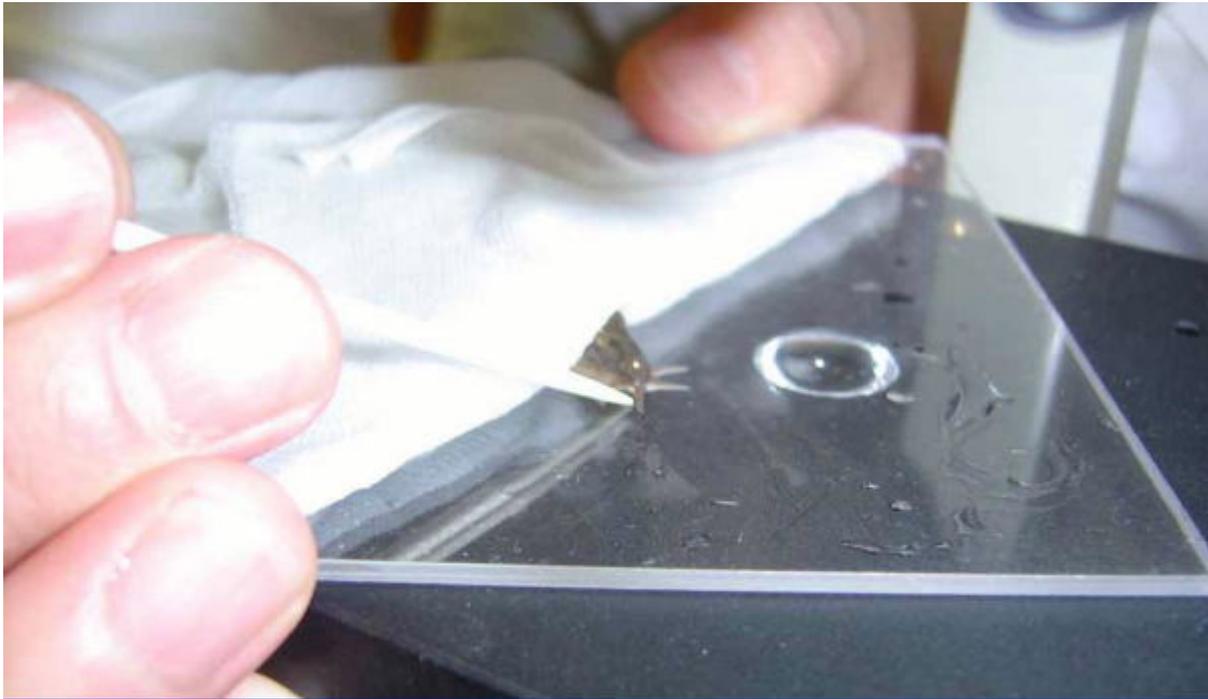
ドジョウの体が乾かないように、スポイトで水を滴下し、十分に湿らせます。



観察する部分のかけ布団をめくります。ここでもドジョウへのいたわり、語りかけを忘れないでください。尾びれなら400倍でも観察可能です。対物レンズで尾びれをつぶさないように気をつけましょう。



ヒゲを観察するときは、頭部のかけ布団をめくって、つまようじでそっとヒゲを引き出します。



頭部は厚みがあるので100～150倍で観察するのがよいでしょう。血管がUターンや枝分かれている様子がよくわかります。



いたわってくれれば20分間ぐらいはが
まのできるのので、じっくりと観察してくださ
い。ちらっと顕微鏡をのぞいてわかった
つもりの観察ならしないでくださいね。
血管のつくりや赤血球を丁寧に観察して
ください。骨と色素を血液に見間違えな
いでください！